

市民が語る都留市の健康 Ⅲ

初めてのママからメッセージ

今回は、初めてお母さんになった方々に赤ちゃんのことやパパのことを語ってもらいました。

♥今は、何もかもが心配！

保健婦 赤ちゃんも生後一ヶ月位になりますが、今、一番心配なことは何ですか。

ママ 体重の増え方やミルクの量、発育の程度など気になります。

ママ 今、湿疹が出ていいるのですが、どのような手当が必要なんですか。

ママ 病気になったらどうしようとか、自分の育児方法が正しい

のか、とにかくすべてが心配です。

♥育児は大変、でも笑顔が救い！

保健婦 子育てをはじめて、今どんなことを感じていますか。

ママ 夜中に起きるのが大変。でも「ニコッ」と笑う顔を見ると大変さも忘れてしまいます。

ママ 自分の母親の時代の育児は今と違うから、と最初は聞き入れることができなかったけれど、基本は同じなんだと気づきました。親や家族のありがたみがよくわかりました。

ママ 友達や職場の仲間から出産や育児の話を知り、赤ちゃんに接する機会があり、なんとなく「育児ってこんなもの」というイメージがあったので、あまり戸惑いはなかったように思います。

ママ 大変な気持ちと楽しみが半分ずつ。子どもとの時間をできるだけ大切にしたいと思います。

♥パパは心の支えです

保健婦 パパの育児の様子を教えてください。

ママ 仕事は忙しく、なかなかチャンスがありません。なるべく抱いてもらうようにしています。今は抱くのが精一杯という感じです。

ママ オムツを替えたり、ミルクをあげたり、夜中にあやしてくれたり

ママ 夫の同僚の方々があたり前の様に育児をしているのを見ていたため、とても協力的です。それに実家の親たちからも協力する様に結構言われていたみたいです。

ママ 家にはいる時間が短かいので手を出すことは少ないけれど、い

ママ パパが育児をしていてくれる間に買物に出かけたりして、少しストレスが発散できます。そうするとまた「頑張るゾー」という気持ちになります。

ママ 赤ちゃんも社会の一員！

♥赤ちゃんも社会の一員！

保健婦 子どもたちを育てていく中でどんな事を社会や行政に期待しますか。

ママ ちょっとした事が相談できるサービスや、同じ月年齢の子どもたちが集まるような機会があれば良いと思います。

ママ 育児から少しの時間でも解

放されたいと思ったことがありません。有料でも良いから子どもの面倒をみてくれるベビーシッターのようなサービスがあると助かります。

ママ 社会が赤ちゃんに対し冷たいと思います。レストランや電車の中で「迷惑だ」という対応をされ、とてもつらい思いをしました。それに、スーパーやデパート等にも託児の施設がないので買物も思うように出来ず大変です。

ママ ガードレールがなかったり、でこぼこの道でベビーカーが押せなかったりします。安心して外出できる環境が欲しいです。

ママ 職場復帰のため保育園へ入れる予定です。残業や子どもが病気の時に受け入れてくれる制度や施設があると良いと思います。

ご協力ありがとうございました。お話は、保健婦による第一子新生児訪問の際に伺った内容を抜粋し掲載しました。

発達の子 (生後2ヶ月頃)



この頃になるとあやすと微笑を返してくれるようになります。この微笑が一番誘い出せるのは「大好きなおとなの顔」なのです。そしてだんだん他の人の顔へも心の窓が開いていきます。「おかあさんの顔がみたいなあー」「おとうさんの顔がみたいなあー」という人を求めてやまない心を育ててあげましょう。しっかり目をあわせ、大好きな人の顔がみられるのは、こんなに楽しいんだという喜びをたくさん味わせてあげたいものです。

新任保健婦さん紹介



平成七年四月一日より新海歩さんが保健婦として保健環境課へ新

採用になりました。保健婦は市民一人ひとりの健康相談を行い、皆さんが快適な健康状態で居られるように、具体的な健康生活実践の援助をしていきます。妊娠、出産、育児、成人病予防等の保健指導、新生児や寝たきり老人の訪問指導、機能回復訓練事業など、様々な分野での活動をしています。

なお現在、市には新海さんを含めて七名の保健婦が担当地区を受け持ち活動しています。いつでも保健環境課へご連絡ください。